

「種を蒔く人」のたとえの説明

マルコによる福音書 4:13-20	マタイによる福音書 13:18-23	ルカによる福音書 8:11-15	ヨハネによる福音書
<p>13a また彼らに言われた、</p> <p>13b 「あなたがたはこの譬がわからないのか。それでは、どうしてすべての譬がわかるだろうか。</p> <p>14 種まきは御言をまくのである。</p> <p>15 道ばたに御言がまかれたとは、こういう人たちのことである。すなわち、御言を聞くと、すぐにサタンがきて、彼らの中にまかれた御言を、奪って行くのである。</p> <p>16 同じように、石地にまかれたものとは、こういう人たちのことである。御言を聞くと、すぐに喜んで受けるが、</p> <p>17 自分の中に根がないので、しばらく続くだけである。そののち、御言のために困難や迫害が起ってくると、すぐつまずいてしまう。</p> <p>18 また、いばらの中にまかれたものとは、こういう人たちのことである。御言を聞くが、</p> <p>19 世の心づかいと、富の惑わしと、その他いろいろな欲とがはいってきて、御言をふさぐので、実を結ばなくなる。</p> <p>20 また、良い地にまかれたものとは、こういう人たちのことである。御言を聞いて受けいれ、三十倍、六十倍、百倍の実を結ぶのである」。</p>	<p>18 そこで、種まきの譬を聞きなさい。</p> <p>19 だれでも御国の言を聞いて悟らないならば、悪い者がきて、その人の心にまかれたものを奪いとって行く。道ばたにまかれたものというは、そういう人のことである。</p> <p>20 石地にまかれたものというは、御言を聞くと、すぐに喜んで受ける人のことである。</p> <p>21 その中に根がないので、しばらく続くだけであって、御言のために困難や迫害が起ってくると、すぐつまずいてしまう。</p> <p>22a また、いばらの中にまかれたものとは、御言を聞くが、</p> <p>22b 世の心づかいと富の惑わしとが御言をふさぐので、実を結ばなくなる人のことである。</p> <p>23 また、良い地にまかれたものとは、御言を聞いて悟る人のことであって、そういう人が実を結び、百倍、あるいは六十倍、あるいは三十倍にもなるのである」。</p>	<p>11a この譬はこういう意味である。</p> <p>11b 種は神の言である。</p> <p>12 道ばたに落ちたのは、聞いたのち、信じることも救われることもないように、悪魔によってその心から御言が奪い取られる人たちのことである。</p> <p>13a 岩の上に落ちたのは、御言を聞いた時には喜んで受けいれるが、</p> <p>13b 根が無いので、しばらくは信じていても、試練の時が来ると、信仰を捨てる人たちのことである。</p> <p>14a いばらの中に落ちたのは、聞いてから日を過ごすうちに、</p> <p>14b 生活の心づかいや富や快楽にふさがれて、実の熟するまてにならない人たちのことである。</p> <p>15 良い地に落ちたのは、御言を聞いたのち、これを正しい良い心でしっかりと守り、耐え忍んで実を結ぶに至る人たちのことである。</p>	